INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT



東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2019年第3週 (1月14日~1月20日)

- * 2019年1月23日現在の情報により作成しています。 最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。 http://survey.tokyo-eiken.go.ip/
- http://survey.tokyo-eiken.go.jp/
 * 今週は感染症豆知識「近代ワクチンとパスツール」も掲載しています。

平成31(2019)年1月24日発行

編集・発行 >

東京都健康安全研究センター 健康危機管理情報課

電 話:03-3363-3213(直通) FAX:03-5332-7365

e-mail:www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類~四類) 2019年3週

八松	対象疾患		東京都	1)	全国(診断週)			
分類	对象疾患	52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
<u> </u>	痘そう							
	南米出血熱							
類	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
	急性灰白髄炎							
	結核	79	10	52	59	121	261	723
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群*1							
類	中東呼吸器症候群*2							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
	コレラ							
\equiv	細菌性赤痢			2		2	1	5
	腸管出血性大腸菌感染症	4		5	1	6	10	58
類	腸チフス							1
	パラチフス							
	E型肝炎	1		4		4	5	17
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1	3		4	13	46
	エキノコックス症							
	黄熱							
	オウム病						2	3
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
兀	コクシジオイデス症							
類	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群*3						1	1
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病	3					7	25
	デング熱		1	4	4	9	7	22
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)							

^{*1} 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

^{*2} 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

^{*3} 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

八拓			東京都	(保健)	「受理 遇	1)	全国	(診断週)
分類	対象疾患	52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
四	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
類	マラリア		1		1	2	1	4
	野兎病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	5	3	3	3	9	25	77
	レプトスピラ症		_					
	ロッキー山紅斑熱							

(全数把握対象疾患のコメント・一類~五類)

〈二類感染症〉

結核 59件 患者および死亡後診断 38件(肺結核 28件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 20件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 6件、30代 7件、40代 6件、50代 6件、60代 5件、70代 9件、80代 12件、90歳以上 6件、推定感染地は国内 46件、ベトナム 1件、中国 1件、不明 11件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者、血清型・毒素型はO26 VT1、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感 染であった。

〈四類感染症〉

デング熱 4件 病型はデング熱 4件、血清型不明 4件、年齢は20代 1件、30代 1件、50代 2件、推定感染地はアラブ首長国連邦又は中国 2件、マレーシア 2件であった。

マラリア 1件 病型は熱帯熱、年齢は40代、推定感染地はブルキナファソ又はマリであった。

レジオネラ症 3件 病型は肺炎型 3件、年齢は60代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 2件、国内又はタイ1件、推定感染経路は水系感染 1件、塵埃感染 1件、不明 1件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は40代 1件、80代 1件、推定感染地は不明 2件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 1件、C型 1件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はB型は異性間性的接触、C型は同性間性的接触であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6件 病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 4件、肺炎桿菌 2件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、50代 1件、70代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は以前からの保菌 4件、手術部位 感染 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴はすべて無しであった。

急性脳炎 6件 病原体はインフルエンザウイル 5件(A型 3件、AH1pdm09 1件、型別不明 1件)、ノロウイルス・ロタウイルス 1件、 年齢は10歳未満 6件(うち5歳未満 3件)、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、接触感染 2件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、10歳未満のうち1件は死亡が確認された。

[※] 第2週該当分として [三類] 細菌性赤痢 1件の追加報告があった。 ※ 第2週該当分として [四類] A型肝炎 1件、レジオネラ症 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類) 2019年3週

分類	対象疾患		東京都	(保健)	「 受理遇	1)	全国	(診断週)									
刀類	刈 家沃芯	52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計									
	アメーバ赤痢			4	2	6	4	27									
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1		1	2	3	5	11									
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	4	4	6	14	26	90									
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1							3									
	急性脳炎 * ²	4		5	6	11	19	68									
	クリプトスポリジウム症																
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		1	1	5									
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	4	3	8	13	49									
五.	後天性免疫不全症候群	11	1	5	4	10	8	22									
類	ジアルジア症				1	1	1	1									
頖	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	7	2	10	14	45									
全	侵襲性髄膜炎菌感染症						1	4									
全数届	侵襲性肺炎球菌感染症	14	6	19	11	36	54	249									
届	水痘(入院例に限る)	4			1	1	4	20									
出	先天性風しん症候群																
	梅毒	37	9	39	31	79	61	200									
	播種性クリプトコックス症				1	1	2	8									
	破傷風						1	2									
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1	3									
	百日咳	74	9	41	54	104	222	688									
	風しん	22	12	35	11	58	60	207									
	麻しん	1	3	3	1	7	20	67									
	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1		1		1									
						2019/1/23集計											

^{*1 2018}年5月1日より追加指定された。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件 血清群はA群 1件、B群 1件、G群 1件、年齢は60代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は 国内3件、推定感染経路は創傷感染1件、不明2件であった。60代のうち1件および90歳以上の患者は死亡が確認された。 後天性免疫不全症候群 4件 無症候キャリア 3件、その他 1件、性別は男性 4件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内4件、推定感染経路は性的接触4件(同性間2件、異性間1件、両性間1件)であった。

ジアルジア症 1件 年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件 血清型はすべて検査未実施、年齢は70代1件、80代1件、推定感染地は国内2件、推 定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、ヒブワクチン接種歴は無し 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 11件 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満1件、40代1件、60代4件、70代2件、80代2件、 90歳以上1件、推定感染地は国内11件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染1件、不明10件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価 4回接種済み 1件、価数不明1回接種済み 1件、無し1件、不明 8件であった。

水痘(入院例) 1件 検査診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染、水痘ワクチン接種歴は無しで あった。

梅毒 31件 患者 23件(早期顕症梅毒 I 期 8件、早期顕症梅毒 II 期 15件)、無症候梅毒 8件、性別は男性 23件、女性 8件、 年齢は10代 1件、20代 7件、30代 10件、40代 8件、50代 4件、70代 1件、推定感染地は国内 29件、国内又は中国 1件、中国又 は韓国 1件、推定感染経路は性的接触 31件(同性間 12件、異性間 17件、性別不明 2件)であった。

播種性クリプトコックス症 1件 年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染原因は免疫不全(多発性骨髄腫)であった。

百日咳 54件 年齢は10歳未満21件(うち5歳未満3件)、10代18件、20代3件、30代3件、40代7件、50代1件、60代1件、推 定感染地は国内43件、不明11件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み30件、3回接種済み1件、2回接種済み1件、無 し 3件、不明 19件であった。

風しん 11件 検査診断例 11件、年齢は20代 3件、30代 4件、40代 3件、60代 1件、推定感染地は国内 11件、推定感染経路は 飛沫感染3件、不明8件、風しん含有ワクチン接種歴は無し4件、不明7件であった。

麻しん 1件 検査診断例、遺伝子型はB3、年齢は30代、推定感染地はフィリピン、推定感染経路および麻しん含有ワクチン接 種歴は不明であった。

^{*2} ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

[※] 第33週該当分として [五類] 梅毒 1件の追加報告があった。 ※ 第38週該当分として [五類] 百日咳 1件の追加報告があった。 ※ 第38週該当分として [五類] 風上が 1件の追加報告があった。 ※ 第1週該当分として [五類] 風しが 1件の追加報告があった。 ※ 第1週該当分として [五類] 風しが 1件の追加報告があった。 ※ 第2週該当分として [五類] アメーバ赤痢 1件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1件、後天性免疫不全症候群 1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 2件、梅毒 5件、百日咳 2件、風しが 4件、麻しが 1件、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2019年3週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年		2019年		報告 医療	定点 医療
足尽性別	对家沃 思	52週	1週	2週	3週	機関数	機関数
	RSウイルス感染症	46	30	43	44		
	NOグイルイの発来が上	0.18	0.15	0.17	0.17		
	咽頭結膜熱	73	17	65	39		
		0.29	0.08	0.25	0.15		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	538	107	514	492		
-		2.16	0.53	1.98	1.88		
	感染性胃腸炎	2,428 9.75	581 2.89	2,365 9.10	1,958 7.47		
		141	2.89 69	175	78		
	水痘	0.57	0.34	0.67	0.30		
•		82	21	32	30		
	手足口病	0.33	0.10	0.12	0.11		
小児科	- Ma Lil Joseph	383	160	551	427	262	264
	伝染性紅斑	1.54	0.80	2.12	1.63		
ľ		79	28	96	95		
	矢発性発しん	0.32	0.14	0.37	0.36		
	ヘルパンギーナ	5		3	3		
		0.02		0.01	0.01		
	流行性耳下腺炎	12	2	20	9	1	
		0.05	0.01	0.08	0.03		
	川崎病 * ¹	1	2	4	1		
	7 Tread 71 4	0.00	0.01	0.02	0.00		
	不明発しん症 *1	13	2	9	11		
インフル		0.05 4,545	0.01 3,156	0.03 13,064	0.04		
エンザ	インフルエンザ *2	11.54	9.20	31.71	21,850 52.65	415	419
		11.04	3.20	1	02.00		
BD 401	急性出血性結膜炎			0.03			
眼科	法/二.l. 互 分 □ 世 /K	16	6	22	14	38	39
	流行性角結膜炎	0.48	0.17	0.58	0.37		
	如古州政時次 *3			2	1		
	細菌性髄膜炎 *3			0.08	0.04		
	無菌性髄膜炎	1	1	1			
	<u> </u>	0.04	0.04	0.04			
	マイコプラズマ肺炎	6	4	4	5		
基幹	1 2 2 2 2 2 2 Mer 200	0.24	0.16	0.16	0.20	25	25
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	-A.VII. III III // /> -> *4		2	2	2		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)*4		0.08	0.08	0.08		
		37	69	162	185		
	インノル ニ ンリ 八阮	1.48	2.76	6.48	7.40		
						2019/1	/23集計

^{*1} 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・インフルエンザ、伝染性紅斑は警報レベルに達しています。
- ・感染性胃腸炎は報告数が高い地域が見られます。

^{*2} 鳥インフルエンザを除く。

^{*3} インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

^{*4} 病原体がロタウイルスであるものに限る。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】2019年3週

						小児科					
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
~5か月	5			12				1			
6~11か月	12	1	4	105	2	1	1	25	2		
1歳 2歳 3歳	15	10	9	270	6	14	18	45			1
2歳	7	11	34	206	5	7	27	16			
3歳	3	3	48	158	3	3	46	6			
4歳		3	64	170	8	2	69	1		2	
5歳 6歳	2	2	69	122	10	2	71				
6歳		1	42	105	11		76		1	3	
7歳		1	42	78	8	1	38	1			
8歳 9歳			50	81	11		38			1	
		2	28	50	6		21				
10~14歳		1	67	226	8		18			2	
15~19歳		1	6	61			1			1	
20~29歳		3	29	314			3				
30~39歳											
40~49歳											
50~59歳											
60~69歳											
70~79歳											
80歳以上											
合計	44	39	492	1,958	78	30	427	95	3	9	1
先週比	1	-26	-22	-407	-97	-2	-124	-1		-11	-3

注:小児科定点把握対象疾患の「20~29歳」は「20歳以上」と読み替える。 眼科定点把握対象疾患のうち、「70~79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼	:科				基幹		
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性胃腸炎	インフル エンザ 入院
~5か月		49								4
6~11か月		209								2
1歳	2	754		2						7
2歳	1	876		2					1	5
3歳	3	1,021								4
4歳	1	1,142		1			1		1	2
5歳	2	1,206								2 5
6歳	1	1,099								5
7歳		1,164								4
8歳		1,104								2
9歳		861								1
10~14歳		3,378					1			4
15~19歳		1,221					1			1
20~29歳	1	1,451		3						2
30~39歳		1,681		3						3
40~49歳		1,992		1			1			5
50~59歳		1,254								9
60~69歳		676		1	1					14
70~79歳		439		1			1			38
80歳以上		273								71
合計	11	21,850		14	1		5		2	185
先週比	2	8,786	-1	-8	-1	-1	1			23

注:小児科定点把握対象疾患の「20~29歳」は「20歳以上」と読み替える。 眼科定点把握対象疾患のうち、「70~79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2019年3週

						小児科					
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病
千代田			1.00	2.00			1.00				
中央区		0.67	0.33	14.00		0.67	3.00	1.33			
みなと	0.17	0.17	4.00	2.00		0.33	1.50	0.33			
新宿区	0.63	0.13	1.88	5.75	0.13		0.75		0.13		
文京			1.75	3.25	0.25	0.25	2.25	1.00			
台東			2.00	13.25	0.75		1.50	0.25		0.25	
墨田区			2.60	5.40	0.20		0.40	0.20			
江東区	0.44		1.56	12.89	0.11	0.11	1.67	0.44			
品川区		0.13	0.38	6.25			1.75	1.00			
目黒区	0.40		1.60	9.40			3.00		0.20	0.20	
大田区	0.38		1.31	8.38	0.15	0.46	1.85	0.46		0.08	
世田谷	0.13	0.44	1.88	7.19	0.19	0.19	1.63	0.31			
渋谷区		0.25	1.50	10.75	0.50		0.75	0.50			
中野区		0.17	3.00	10.50	0.17	0.17	1.67	0.17			
杉並		0.27	1.00	6.18	0.27		0.64	0.09			
池袋		0.25		5.00	0.50	0.25	0.50				
北区			0.57	8.71	0.14		0.57	0.43			
荒川区		0.25	2.00	9.75	1.50		0.75	0.50			
板橋区			0.40	6.30	0.20	0.10	1.10	0.10			
練馬区	0.38	0.15	4.23	8.08	0.46	0.08	2.31	0.31			
足立	0.08		1.85	7.08	0.46	0.08	1.38	0.23			
葛飾区	0.13		2.13	8.88	0.13	0.25	1.00	0.50			
江戸川	0.17	0.08	3.42	9.33	0.33		1.17	0.42			
八王子市	0.55	0.27	1.91	6.73	0.91	0.36	5.55	0.09		0.18	
町田市	0.25		1.75	11.00	0.63	0.13	1.50	0.75	0.13		
西多摩		0.13	0.75	6.75	0.13		1.25			0.25	
南多摩	0.11	0.44	1.22	7.00	0.11	0.11	1.89	0.67			
多摩立川	0.14		2.36	5.50	0.21	0.07	0.93	0.21			
多摩府中		0.05	1.62	6.90	0.43	0.05	2.10	0.48		0.05	0.05
多摩小平	0.36	0.57	3.00	6.00	0.21		1.57	0.57			
島しょ										1.00	
東京都	0.17	0.15	1.88	7.47	0.30	0.11	1.63	0.36	0.01	0.03	0.00

	小児科	インフルエンザ	眼	·科			基	幹		
	不明発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		33.50								5.00
中央区	0.33	39.20								
みなと		30.44					1.00			13.00
新宿区		31.83								4.00
文京		50.14								5.00
台東		38.14								
墨田区	0.20	49.38					1.00			13.00
江東区	0.11	43.50								
品川区		24.45								
目黒区		39.14								
大田区	0.08	40.14								
世田谷	0.06	54.28								11.00
渋谷区		30.14		3.00					1.00	4.00
中野区		58.50								
杉並		29.65							0.50	14.50
池袋		49.43		4.00						
北区		50.27								
荒川区		48.71		1.00						
板橋区	0.10	38.06		0.50			1.00			4.00
練馬区		42.90		0.50						
足立		47.10		1.00						
葛飾区		63.69								13.00
江戸川		62.37		0.50						
八王子市	0.09	98.78		0.50						9.00
町田市		68.31								
西多摩		58.00								3.00
南多摩		65.29								
多摩立川		58.86								
多摩府中	0.05	65.55					0.67			13.00
多摩小平	0.21	69.59			0.50					6.50
島しょ		86.00								
東京都	0.04	52.65		0.37	0.04		0.20		0.08	7.40
ハトハハ・日中	0.01	02.00		0.01	0.01		0.20		0.00	1.10

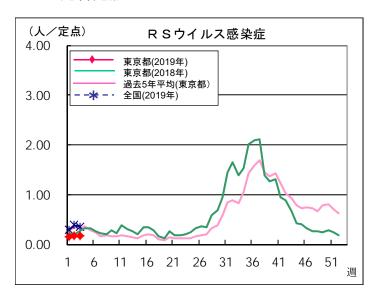
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】2019年3週

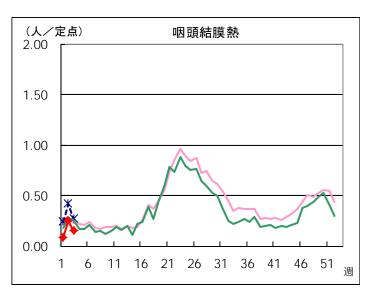
						小児科					
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田			3	6			3				
中央区		2	1	42		2	9	4			
みなと	1	1	24	12		2	9	2			
新宿区	5	1	15	46	1		6		1		
文京			7	13	1	1	9	4			
台東			8	53	3		6	1		1	
墨田区			13	27	1		2	1			
江東区	4		14	116	1	1	15	4			
品川区		1	3	50			14	8			
目黒区	2		8	47			15		1	1	
大田区	5		17	109	2	6	24	6		1	
世田谷	2	7	30	115	3	3	26	5			
渋谷区		1	6	43	2		3	2			
中野区		1	18	63	1	1	10	1			
杉並		3	11	68	3		7	1			
池袋		1		20	2	1	2				
北区			4	61	1		4	3			
荒川区		1	8	39	6		3	2			
板橋区			4	63	2	1	11	1			
練馬区	5	2	55	105	6	1	30	4			
足立	1		24	92	6	1	18	3			
葛飾区	1		17	71	1	2	8	4			
江戸川	2	1	41	112	4		14	5			
八王子市	6	3	21	74	10	4	61	1		2	
町田市	2		14	88	5	1	12	6	1		
西多摩		1	6	54	1		10			2	
南多摩	1	4	11	63	1	1	17	6			
多摩立川	2		33	77	3	1	13	3			
多摩府中		1	34	145	9	1	44	10		1	1
多摩小平	5	8	42	84	3		22	8			
島しょ										1	
	<u> </u>	<u> </u>		, -							
東京都合計	44	39	492	1,958	78	30	427	95	3	9	1

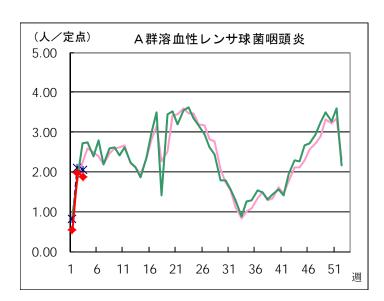
	小児科	インフルエンザ	眼	科			基	幹		
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		134								10
中央区	1	196								
みなと		274					1			13
新宿区		382								8
文京		351								5
台東		267								
墨田区	1	395					1			13
江東区	1	609								
品川区		269								
目黒区		274								
大田区	1	843								
世田谷	1	1357								22
渋谷区		211		3					1	4
中野区		585								
杉並		504							1	29
池袋		346		4						
北区		553								
荒川区		341		1						
板橋区	1	609		1			1			4
練馬区		901		1						
足立		942		2						
葛飾区		828								13
江戸川		1185		1						
八王子市	1	1778		1						9
町田市		888								
西多摩		812								3
南多摩		914								
多摩立川		1236								
多摩府中	1	2163					2			39
多摩小平	3	1531			1					13
島しょ		172								
			1	_		1		1	1	
東京都合計	11	21,850		14	1		5		2	185

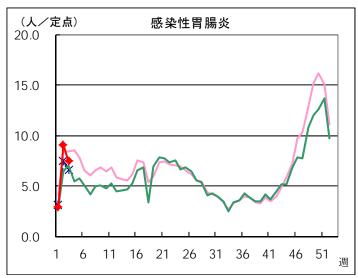
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2019年3週 現在)

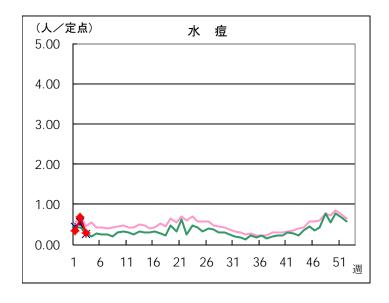
◆ 小児科定点

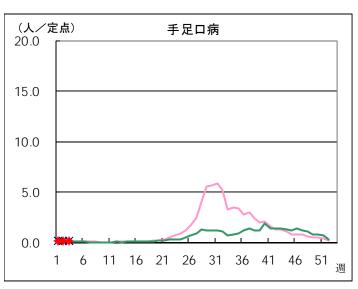


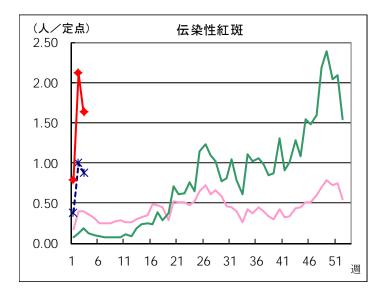


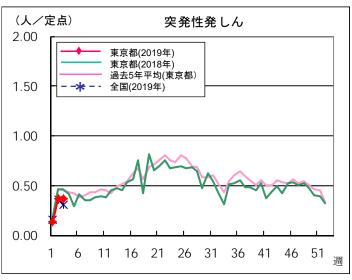


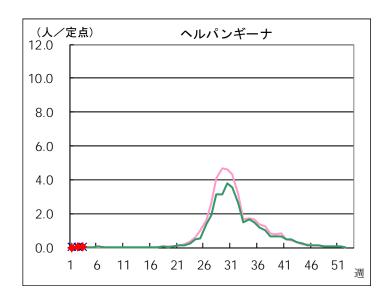


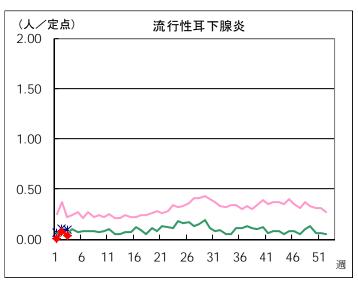


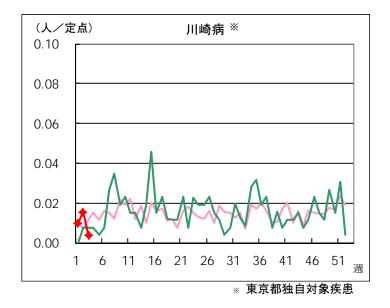


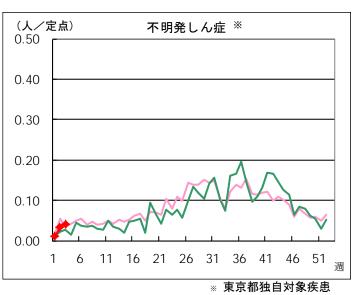




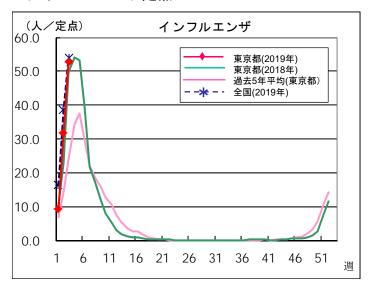




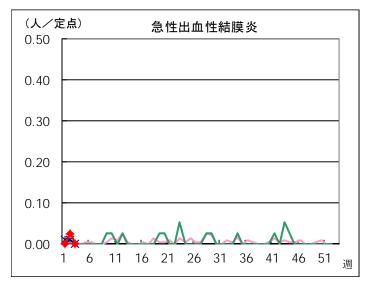


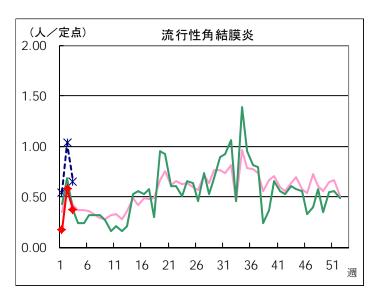


◆ インフルエンザ定点

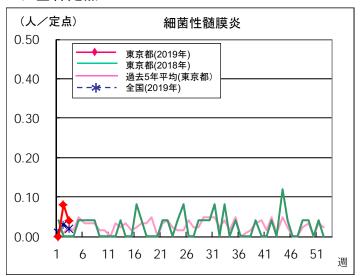


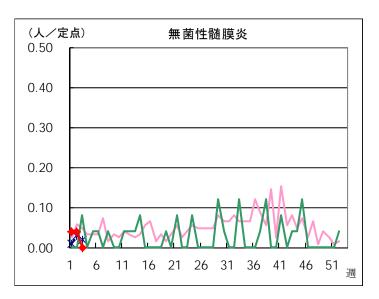
◆ 眼科定点

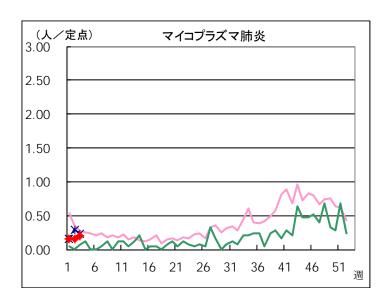


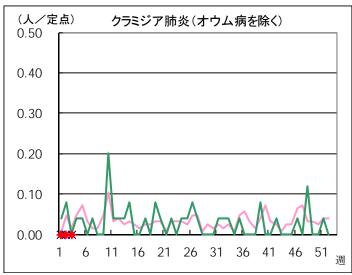


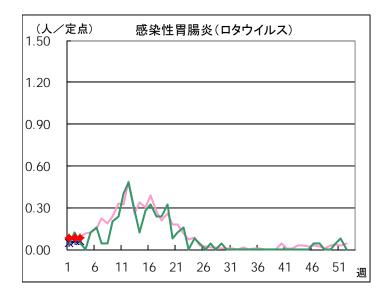
◆ 基幹定点

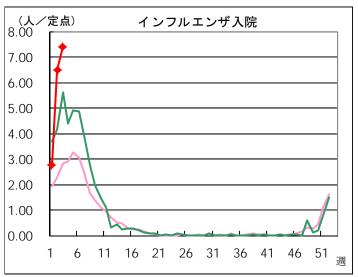












定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2018年52週	10			
2018-2019年 シーズン累計 [*]	48	14		

^{* 2018-2019}年シーズンの開始は第36週(2018年9月3日~)

病原体検出情報【週別】

松山岸區化	2018年					2019年		
検出病原体	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	01週
アデノウイルス	2	2	2	1	3			
コクサッキーウイルスA群	4	2	1	1	3			
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71	1							
その他のエンテロウイルス	1					1		
ライノウイルス	1				1	3		
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱しんウイルス					3			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		2				1		
EBウイルス						1		
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス		1	1					
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	2	1	2		2			
RSウイルス		1				1		
ノロウイルス	1	2	1	1	1			
ロタウイルス								
サポウイルス			1	1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09	4		3	6	2	14	10	
インフルエンザウイルスAH3亜型			2	3	3	2		
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス			1					
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1		3					
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1					
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型			1		1			
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1		1			
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ	1							
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2018年46週~2019年01週

R													20	2018年46週~2019年01週							
S 野		D	нПП		-12	-1.0	工	<i>i</i> —	क्ष		油	111	7	,	,	厶	油	φm	∕tmt.		Ъ
辞報 日本の		R	凼		感	水	手	厷	癸	^	流	711	个	1	1	思	流	紺	無	7	1
中国		S													ン	.h4-				1	
### 15 *** *** *** *** *** *** *** *** ***				溶	沈				癷	ル	行		明	ン	7	1生	行	粛	粛	' '	ラ
イ 大 大 大 大 大 大 大 大 大		ウ	頭	ш.	//			染	70				7,			ж		122	523	コ	
A		,		性			足			パ	性			フ	ル	ш	性				3
かけっかい		1		レ	性				性				発		7	т́п		性	性		
大きな		ル	結	ン				性		ン	耳	崹		ル			角			ラ	ジ
京都 京都 京都 京都 京都 京都 京都 京都			16	+}-	=				又次				1		ン	性	*	丛右	丛右		
展 膜 歯		ス			Ħ		Ιп		光	ギ	下			.TC	北		結	貤	貤	ズ	P
現入検体数 2 3 11 15 7 12 10 2 2 3 13 14 2 2 2 3 14 15 2 2 2 3 15 15 2 2 2 3 15 2 2 2 3 15 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3		咸	ा古					公丁			'					結	까ㅁ			7	
接触性数		/EX	ル矢		腸			水工	し	ı	旧白		W	37	様	l	咁	膜	膜	×	吐
照人格体数 2 9 11 15 7 12 10 2 2 5 5 10 10 43 77 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		染								'	別聚				疾	膜	朕			肺	ДIП
療入検検数 2 9 11 15 7 12 10 2 2 5 10 10 43 27 4 4 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			-1-1-		مان				,	,	مان			.119		مان	de	مان	de		
フタッカーウイルスAB群 コクサッキーウイルスB群 コニーサイルス シーナーウイルス その他のアンテロタイルス といか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイルス にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイア にいか、アンテロタークールス にいか、アンテロタークース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、ア		炡	烈	灸	炎	短	抦	妞	N	ナ	炎	抦	炡	サ	思	灸	灸	灸	炎	灸	灸
フタッカーウイルスAB群 コクサッキーウイルスB群 コニーサイルス シーナーウイルス その他のアンテロタイルス といか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロタイルス にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイルス にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイア にいか、アンテロターイア にいか、アンテロタークールス にいか、アンテロタークース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、アンテロタース にいか、ア	搬入給体数	2	9	11	15	7	12	10	2	2	5		19	43	27				4	2	
コクサッネーウイルスB群 コーツィルス			+		10		- 15	10					- 10	10							
コグサンド・ウイルス 1							R			1			9		1						
エニーサイルス シーナックイルス シーナックイルス シーナックイルス シーナックイルス 単能・シード・スタールス 単能・シード・スタールス 単能・シード・スタールス 上・ト・スタールス (1)							0			1			۷								
1		-	 	 																	₩
その他のエンテロウイルス フイノクイルス ELN-メニューモウイルス 単純ハルベスウイルス UN-ハペスウイルス WU、カイ型でアチンタイプ) WU、カイ型でアチンタイプ) UN-ハペスウイルス WU、カイルス WU、カイルス WU、カイルス WU、カイルス WU、カイルス UN-バーストルス UN-ボウイルス UN-ボウイルス UN-ボウイルス UN-ボウイルス UN-ボウイルス UN-ボウイルス UN-バーズ UN-			1	 			-												-	\vdash	₩
ライナウイルス 2 1 2 2 1		-		<u> </u>		-	1	-				 				-					₩
E ト メラニューモウイルス 単純・ハーベスウイルス 単純・ハーベスウイルス 単純・ハーベスウイルス 1			<u> </u>												1			<u> </u>	-		₩
単純ヘルペスウイルス 水疱・帯状疱しんウイルス		1	1	1		2	1						1	1				—	—	igspace	₩
水疱・帯状疱レんウイルス		1	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>								<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		Щ
Ebウイルス 1		1	1	1														<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
EBウイルス			ļ	ļ		3															<u> </u>
サイトメガロウイルス		<u> </u>	<u> </u>	<u></u>			1						2								
麻しん型のサテンタイプ) 風しんウイルス 風しんに型のウチンタイプ) というに対すれるB19 RSウイルス リードンドルヴィルスB19 RSウイルス リーヴァイルス ローヴァイルス ス ローヴァイルス ス コ コ ス ム ローヴァイルス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	EBウイルス	$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}$									1									\mathbb{L}^{\neg}	$oxedsymbol{oxedsymbol{oxed}}$
麻しんかクルス 麻しんの型(ワクチンタイプ) 風しんりなス 風しんりなどのチンタイプ) ヒババボウイルス 819 RSウイルス コウタイルス コウタイルス コウタイルス コウタイルス コウタイルス サボウイルスAH1pdm09 インフルエンザウイルスAH3亜型 インフルエンザウイルスB型Victoria系統 その他のウイルス A群溶血性レンサ球菌下-1型 A群溶血性レンサ球菌下-1型 1 A群溶血性レンサ球菌下-2型 1 A群溶血性レンサ球菌下-2型 1 A群溶血性レンサ球菌下-2型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2や型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2や球菌ア-2や型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2や型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	サイトメガロウイルス																				
麻しんかクルス 麻しんの型(ワクチンタイプ) 風しんりなス 風しんりなどのチンタイプ) ヒババボウイルス 819 RSウイルス コウタイルス コウタイルス コウタイルス コウタイルス コウタイルス サボウイルスAH1pdm09 インフルエンザウイルスAH3亜型 インフルエンザウイルスB型Victoria系統 その他のウイルス A群溶血性レンサ球菌下-1型 A群溶血性レンサ球菌下-1型 1 A群溶血性レンサ球菌下-2型 1 A群溶血性レンサ球菌下-2型 1 A群溶血性レンサ球菌下-2型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2や型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2や球菌ア-2や型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2や型 1 A群溶血性レンサ球菌ア-2・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	ムンプスウイルス																				
廃しんA型(ワクチンタイプ) 2 風しんは型(ワクチンタイプ) 5 ヒトパルボウイルスB19 5 RS9イルス 2 ノロウイルス 6 ロウイルス 2 オプクルエンザウイルスAH1pdm09 35 インフルエンザウイルスB型Victoria系統 8 インフルエンザウイルスB型Yamagata系統 8 その他のウイルス 1 A群容血性レンサ球菌T-1型 4 A群容血性レンサ球菌T-2型 1 A群容血性レンサ球菌T-25型 1 A群容血性レンサ球菌T-25型 2 A群容血性レンサ球菌T-82型 2 A群容血性レンサ球菌T-25型 1 A群容血性レンサ球菌T-82型 2 A群容血性レンサ球菌T-82型 2 A群容血性レンサ球菌T-82型 1 A群容血性レンサ球菌T-82型 2 A群容血性レンサ球菌T-82型 1 A群容血性レンサ球菌T-82型 1 A群容血性レンサ球菌T-82型 1 A群容血性レンサ球菌T-82で 1 A群容血性レンサ球菌T-82で 1 A群容血性レンサ球菌T-82で 1 B膨炎でラジンア 1 糖酸茨苗 1 カアンカルエンザ菌 1 カアンカルエンザ菌 1 カアンカルエンザ菌 1																					
風しんウイルス 風しん1a型(ワクチンタイプ) EV-かいポヴィルスB19 RSウイルス コウライルス コウライルス ロウタイルス ログアルエン・ザウイルスAH1pdm09 ログアイルエン・ザウイルスAH3 ログアルエン・ザウイルスAB型 ログアルエン・ザウイルスB型Yamagata系統 その他のウイルス 日前 日本経常血性レン・サ球菌T-1型 日本経常血性レン・サ球菌T-1型 日本経常血性レン・サ球菌T-2型 日本経常血性レン・サ球菌T-2型 日本経常血性レン・サ球菌T-25型 日本経療血性レン・サ球菌T-25型 日本経療血性レン・サ球菌T-25型 日本経療血性レン・サ球菌T-25型 日本経療血性レン・サ球菌T-25型 日本経療血性 ログアルズ 日本経療血性 ログアルズ 日本経療血性 ログアルズ 日本経療血性 ログアルズ 日本経療血栓 ログアルズ 日本経療血栓 ログアルズ 日本経療血栓 ログアルズ 日本経療血栓 ログアルズ ログアル ログアル ログアル ログアル ログアル ログアル ログアル ログアル																					
BLしん1a型(ワクチンタイプ) EL/バルボウイルスB19		1	1	1			1						2								
EトバルボウイルスB19																					
RSウイルス		1	1					5					2.								
プログイルス 6 6 6 1		2	†					Ť												\vdash	
ロタウイルス サボウイルス 2 サボウイルスAH1pdm09 35 4 インフルエンザウイルスAH3亜型 8 2 インフルエンザウイルスB型Victoria系統 8 2 インフルエンザウイルスB型Vamagata系統 1 その他のウイルス 1 A群溶血性レンサ球菌T-1型 4 A群溶血性レンサ球菌T-4型 1 A群溶血性レンサ球菌T-12型 1 A群溶血性レンサ球菌T-25型 1 A群溶血性レンサ球菌T-82型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 財験交っイコプラズマ 1 肺炎の子ミジア 1 糖酸疾炎菌 1 B群シナ球菌 1 財験支球菌 1 インフルエンザ菌 1 黄色ブドウ球菌 1 大腸菌 1 その他の細菌 1			 		6													<u> </u>		\vdash	\vdash
サボウイルス 2 インフルエンザウイルスAH3亜型 8 インフルエンザウイルスB型Victoria系統 8 インフルエンザウイルスB型Yamagata系統 8 その他のウイルス 1 A群溶血性レンサ球菌T-1型 4 A群溶血性レンサ球菌T-4型 1 A群溶血性レンサ球菌T-12型 1 A群溶血性レンサ球菌T-25型 1 A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌T-830名4型 1 A群溶血性レンサ球菌T-B364型 2 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 肺炎マイコブラズマ 1 財験炎・菌 1 B群レンサ球菌 1 財験交 1 財験交 1 大腸菌 1 大腸球菌 1 大腸菌 1 <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td> </td>		1	1		0																
インフルエンザウイルスAH1pdm09 インフルエンザウイルスB型Victoria系統 インフルエンザウイルスB型Vamagata系統 その他のウイルス A群溶血性レンサ球菌T-1型		1	1		9																\vdash
インフルエンザウイルスB型Victoria系統 8 2 インフルエンザウイルスB型Yamagata系統 1 その他のウイルス 1 A群溶血性レンサ球菌T-1型 4 A群溶血性レンサ球菌T-4型 1 A群溶血性レンサ球菌T-12型 1 A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 A群溶血性レンサ球菌での他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 肺炎マイコブラズマ 1 肺炎タラミジア 1 髄膜炎菌 1 B群レンサ球菌 1 財療交替 1 大腸菌 1		1-	-	 										9.5	4			-	-	\vdash	├
インフルエンザウイルスB型Victoria系統 インフルエンザウイルスB型Yamagata系統 その他のウイルス A群溶血性レンサ球菌T-1型		-	 	 																	-
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統 その他のウイルス A群溶血性レンサ球菌T-1型 A群溶血性レンサ球菌T-3型 A群溶血性レンサ球菌T-12型 1 A群溶血性レンサ球菌T-2型 1 A群溶血性レンサ球菌T-2型 1 A群溶血性レンサ球菌T-2型 1 A群溶血性レンサ球菌T-2型 1 A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌T-83264型 2 A群溶血性レンサ球菌その他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌での他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌での他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌での他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌での他のT型 1 B		-	 	 										8	Z						-
その他のウイルス 1 A群溶血性レンサ球菌T-1型 4 A群溶血性レンサ球菌T-4型 1 A群溶血性レンサ球菌T-12型 1 A群溶血性レンサ球菌T-25型 2 A群溶血性レンサ球菌T-83264型 2 A群溶血性レンサ球菌T-83264型 2 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 肺炎マイコプラズマ 1 簡膜炎菌 1 B群レンサ球菌 1 B群レンサ球菌 1 方り球菌 1 大腸菌 2 その他の細菌 1			-																		<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-1型 4 1		-	<u> </u>	 	-		<u> </u>										<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-3型 1		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1		<u> </u>										<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-4型 1 A群溶血性レンサ球菌T-25型 1 A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 A群溶血性レンサ球菌での他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 5 百日咳菌 5 肺炎マイコプラズマ 1 糖膜炎菌 5 B群レンサ球菌 6 肺炎球菌 7ンフルエンザ菌 大腸菌 7の他の細菌		1	1	4			<u> </u>											<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-12型 1 A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 A群溶血性レンサ球菌その他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 肺炎マイコプラズマ 1 肺炎クラミジア 1 髄膜炎菌 1 B群レンサ球菌 1 肺炎球菌 1 インフルエンザ菌 1 黄色ブドウ球菌 1 大腸菌 2 その他の細菌 1			<u> </u>															<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-25型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 5 肺炎マイコプラズマ 7 肺炎外弓ミジア 7 髄膜炎菌 8 B群レンサ球菌 9 肺炎球菌 9 インフルエンザ菌 9 黄色ブドウ球菌 9 大腸菌 6 その他の細菌 9			1	-														<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-28型 2 A群溶血性レンサ球菌Cの他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 肺炎マイコプラズマ 1 肺炎内ラミジア 1 髄膜炎菌 1 B群レンサ球菌 1 肺炎球菌 1 インフルエンザ菌 1 黄色ブドウ球菌 1 大腸菌 2 その他の細菌 1		1	<u> </u>	1														<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型 2 1 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 1 1 百日咳菌 1 1 1 肺炎マイコプラズマ 1 1 1 肺炎水菌 1 1 1 B群レンサ球菌 1 1 1 肺炎球菌 1 1 1 インフルエンザ菌 1 1 1 黄色ブドウ球菌 1 1 1 大腸菌 2 2 1 1 その他の細菌 1 1 1 1																					
A群溶血性レンサ球菌子の他のT型 1 A群溶血性レンサ球菌T型別不能 百日咳菌 肺炎マイコプラズマ 肺炎外ラミジア 髄膜炎菌 B群レンサ球菌 肺炎球菌 インフルエンザ菌 黄色ブドウ球菌 大腸菌 その他の細菌	A群溶血性レンサ球菌T-28型			2																$oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{eta}}}$	L
A群溶血性レンサ球菌T型別不能 1 百日咳菌 1 肺炎マイコプラズマ 1 肺炎クラミジア 2 髄膜炎菌 2 B群レンサ球菌 3 肺炎球菌 4 インフルエンザ菌 4 黄色ブドウ球菌 4 大腸菌 4 その他の細菌 4	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2										L				L		L	L
百日咳菌 1 肺炎マイコプラズマ 1 肺炎クラミジア 1 髄膜炎菌 1 B群レンサ球菌 1 肺炎球菌 1 インフルエンザ菌 1 黄色ブドウ球菌 1 大腸菌 2 その他の細菌 1	A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																	
百日咳菌 1 肺炎マイコプラズマ 1 肺炎クラミジア 1 髄膜炎菌 1 B群レンサ球菌 1 肺炎球菌 1 インフルエンザ菌 1 黄色ブドウ球菌 1 大腸菌 2 その他の細菌 1	A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
肺炎マイコプラズマ 1 肺炎クラミジア 5 髄膜炎菌 6 B群レンサ球菌 7 肺炎球菌 7 大腸菌 7 その他の細菌 7																					
肺炎クラミジア 髄膜炎菌 B群レンサ球菌 肺炎球菌 インフルエンザ菌 黄色ブドウ球菌 大腸菌 その他の細菌		1		İ																1	
髄膜炎菌 B群レンサ球菌 肺炎球菌 Import of the property of the prope		1	i –	i –	l						l										
B群レンサ球菌		1	1	1																	T
肺炎球菌		1	 	 														†		\vdash	\vdash
インフルエンザ菌		1	†	1			1										1				
黄色ブドウ球菌		1	 	 			 										 	—	1	\vdash	
大腸菌 その他の細菌	オーノーナルンサービザー				1	l	Ì	l										Ц			ــــــ
その他の細菌			-															ļ			
	黄色ブドウ球菌																				
	黄色ブドウ球菌 大腸菌																				

<感染症豆知識>

近代ワクチンとパスツール

最初のワクチンは、1796年のジェンナーによる種痘ワクチンである。彼は、牛痘に罹った人は天然痘に罹らないという農婦らの経験的事実に基づき、自然界に存在している牛痘ウイルスを用いた。 しかし、パスツールが 1879年に開発したニワトリコレラのワクチンは、毒性の高いニワトリコレラ菌を研究室で弱毒化して作られた世界最初のワクチンである。1880年に発表された「伝染病、特にニワトリコレラについて」が、近代ワクチンのはじまりを告げることになる。この発見は、偶然の発見(serendipity) のもっとも代表的なものとして、必ず持ち出される定番の事例である。

1879年、夏のバカンスの間、実験室に放置されていたニワトリコレラ培養菌を、パスツールがたまたま鶏に接種したところ、軽く発病したが死ぬことはなかった。この時、彼は天才的なひらめきにより、放置されたニワトリコレラ培養菌を接種した鶏に、新鮮な菌を接種したところ、鶏は軽い症状を示したが生き残ることを観た。彼は、長期培養によりニワトリコレラ菌が弱毒化され、しかも免疫能力は失われなかったことを理解した。最近では、ニワトリコレラのワクチンは「偶然の発見」ではなく、弟子のルーがパスツールに内緒で、計画的に行った実験結果であったと言われる。

パスツールはその後、病原体そのものを弱毒化させる方法を展開した。炭疽は、高温培養により弱毒化した炭疽菌をヒツジ、ヤギ、ウシに接種して、予防効果を示した 1881 年の野外公開実験が有名である。ブタ丹毒は、ウサギで継代して弱毒化したブタ丹毒菌を使った。そして、1885 年に人に初めて使用した狂犬病ワクチン療法は、感染ウサギの脊髄神経組織を酸素暴露にて乾燥弱毒化したものである。

免疫学の歴史の中でパスツールの果たした役割は、第一は伝染病の「微生物説」の確立であり、第二はジェンナーの考えを発展させて、予防接種概念の体系を確立したことである。

(文責 元日本大学医学部准教授 池田忠生)